

< 第4節終了時点順位表 >

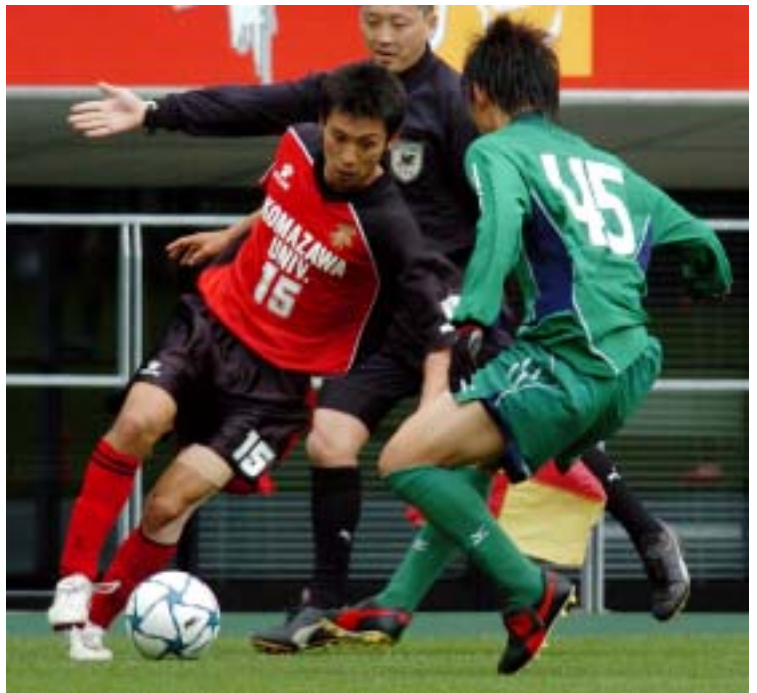
	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	筑波大学	3	0	1	12	5	+7	10
2	流通経済大学	2	0	2	9	4	+5	8
3	駒澤大学	2	0	2	7	3	+4	8
4	国士館大学	2	1	1	10	8	+2	7
5	法政大学	2	2	0	9	7	+2	6
6	明治大学	1	1	2	4	2	+2	5
7	東京学芸大学	1	1	2	4	4	0	5
8	順天堂大学	1	2	1	5	7	-2	4
9	早稲田大学	1	2	1	6	9	-3	4
10	中央大学	1	2	1	2	5	-3	4
11	東京農業大学	1	2	1	4	8	-4	4
12	専修大学	0	4	0	3	13	-10	0

得点ランキング

4ゴール	武田英明(流経大)
	柏好文(国士大)
3ゴール	兵藤慎剛(早大)
	木島悠(筑波大)
	三澤純一(筑波大)
2ゴール	本田拓也(法大)
	他8名

アシストランキング

3アシスト	瀬田貴仁(東学大)
2アシスト	巻佑樹(駒大)
	森賢一(明大)
	三澤純一(筑波大)
	菊岡拓朗(法大)
	兵藤慎剛(早大)
	他3名



【上】2得点目を決めた田谷。サイドから果敢に攻撃を仕掛けた
 【下】公式戦初出場の伊藤。得意のヘディングでロングボールを跳ね返す。「自分も含めて1年生が試合に出場することでチームのレベルが上げられると思う」と既にチームのことを考えるルーキーは頼もしい存在である
 【右下】3得点目は正に巻の高さが生きた



4月16日 14:10 フクダ電子アリーナ	
駒大 3 (3-1) 1 東農大 (4位・5) (0-0) (5位・4)	
得点者(アシスト)	
【駒】16分: 島田祐輝 1(筑城和人 1)	
【農】17分: 本石泰裕 1	
【駒】22分: 田谷高浩 1	
【駒】24分: 小林竜樹 1(巻 佑樹 2)	
KOMAZAWA	TOKYONOGYO
GK 三栗寛士(4)	GK 藤井賢心(2)
DF 塚本泰史(3)	DF 剣持貴充(4)
DF 廣井友信(4)	DF 太田浩二(4)
DF 伊藤 龍(1)	DF 工藤祐生(2)
MF 菊池光将(3)	DF 45 角田真行(1)
MF 筑城和人(4)	MF 古橋 憲(4)
MF 39 山崎健太(1)	MF 本石泰裕(3)
MF 田谷高浩(3)	(70分 横田倫光(2))
MF 島田祐輝(2)	MF 河井雄一郎(3)
(62分 40 鳥羽田龍(1))	MF 24 原田 圭(3)
(62分 原 一樹(4))	FW 榎本健太郎(2)
FW 24 小林竜樹(3)	(76分 鴨志田真生(2))
(84分 阿部琢久哉(4))	FW 28 常盤 聡(1)
FW 巻 佑樹(4)	(58分 今泉享也(3))
S U B	S U B
GK 21 山内達夫(3)	GK 55 山城共央(4)
DF 30 鈴木寿毅(2)	DF 27 坂口達也(1)
MF 柳崎祥兵(4)	MF 21 阿部文宣(4)
MF 竹内 優(4)	FW 41 千住洋貴(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	高橋武夫
警告(C) / 退場(S)	
【駒】46分: 巻佑樹(C)、57分: 巻佑樹(C)、57分: 巻佑樹(S)、62分: 菊池光将(C)	
【農】85分: 横田倫光(C)、87分: 工藤祐生(C)	
[シュート]11:7[GK]6:13[GK]6:3[PK]0:0[直接FK]11:24[間接FK]2:7[OS]1:6[主審]西 宏和[観衆]約200人	
上記データは全て左側の数字が駒澤	

Iリーグ

駒大はサイドを活かし2得点。しかし国士大もFKから点を取る拮抗し展開で前半を終える。後半、山崎のゴールを皮切りに試合を優位に進め始める。国士大GKのレッドカードを貰うファルで得たPKで加点し後半は、国士大に全く仕事をさせずIリーグ初戦を白星でスタートした。

2006年4月15日 国士館大学鶴川キャンパスグラウンド
インディペンデンスリーグ(前期)第1節
駒澤大学 4 - 2 国士館大学

【得点】()はアシスト
 【駒】15分本間(湯川)、21分湯川(山崎)、53分本間(奥村)、70分奥村 【国】25分、33分
 【メンバー】
 GK 山口一平 (46分平林卓磨) / DF 石川友則 (85分山澤誠広) 奥野拓也、平松俊輔 / MF 葛山公基、桐原崇弘、田野彰大、湯川貴嗣 (46分奥村英樹) 山崎良介 (75分森本勇一) 田村貴之 (65分須田貴浩) / FW 本間亮太

MAN OF THE MATCH

MF 島田祐輝

サイドからドリブルで仕掛け相手DFを置き去りにするシーンを何度か見せた島田。

運動量が落ちてしまいがかりにきた東農大に翻弄されカウンターにもいけず打ったシュートは2本。後半はボールを前に蹴るだけとなってしまった。だがこは、足をつつてまでDFを頑張った小林を含め後半得点を許さなかったイレブンを褒めたい。厚い雲は、島田等調子の良い選手により切り開かれた駒大に光が差し込んだ。現れた光を掴み損ねたためにも次節今日の前半のようなサッカーを見せなければならない。

(香取真人)